

桃園小学校・向台小学校統合委員会 要点記録

第 2 回

開催日時	平成28年8月31日(水) 午後6時30分～7時45分	
開催場所	弥生区民活動センター洋室3, 4号	
出席者	委員	金田一榮、小平一位、川本豊、加藤洋右、高橋智人、 神保亜理、越坂部千明、瀧本和江、清水好博、阿部正幸、 奥愛、高木庸子、田中憲治、中村明子、川畑伊豆海、 松井貴子、浅野昭、板垣淑子 (敬称略、順不同)
	事務局	学校再編担当
会議次第	【報告】 1 学校視察の報告について 【議事】 1 中野区立小中学校の施設整備計画について 2 統合新校のあり方について 3 統合新校の新校舎の基本構想について 4 その他	

第2回 桃園小学校・向台小学校統合委員会 会議要旨

委員長

定刻となったため、これより第2回学校統合委員会を開会する。本日、傍聴者はいない。

本日は議事に入る前に、報告事項がある。まず、報告(1)学校視察の報告について、事務局の説明を求める。

1 報告

報告(1)学校視察の報告について

■資料「練馬区立谷原小学校の視察について」事務局から説明

1 視察日

平成28年8月25日(木)・26日(金) 10時～12時

2 視察先及び概要

練馬区立谷原小学校(練馬区谷原2丁目9番26号)

児童数 594人 21学級 (平成28年5月現在)

うち特別支援学級 12人 2学級

3 工事の概要

平成23年6月～平成28年3月まで

4 施設の概要・特色

- ・教育内容の多様化に対応できる教育環境(特別支援学級、多目的教室、調べ学習対応図書室、パソコン室、LAN)

- ・児童の生活の場としての環境整備（多目的ホール、渡り廊下の大屋根、体育館・プール用更衣室）
- ・エコスクール化（太陽光発電（30kw）、雨水利用（便所、緑化）、屋上緑化）
- ・バリアフリー（エレベーター、だれでもトイレ、スロープ、階段手すり）
- ・地域に開かれた学校づくり（学童クラブ、ひろば室、図書室、和室）

5 主な質疑応答

主な意見、質問	回答
改築工事を実施することになった大まかな背景は何か。	校舎の老朽化、耐震の問題で建て替えることとした。練馬区の小学校では、施設が一番新しい学校である。
エレベーターは児童も使用するのか。	けがをした児童や特別支援学級の児童は使用することもあるが、基本的には来客用としている。
運動場のトラックは何mか。	トラックは100mある。また、昨年度運動場の改修が終わり、水はけもかなり良くなった。
施設で使い勝手の良い点・悪い点を教えてほしい。	<p>良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が一度に集まれるホールがあるのが便利で良い。 ・自然光が明るく、気持ちの良い校舎になっている。 ・廊下がひろくて使い勝手が良い。 ・下駄箱も指導がしやすい大きさである。 <p>悪い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレや更衣室に死角がある。 ・校舎棟から体育館棟へ2階の渡り廊下からしか行けないため、移動に時間がかかる。

委員長

今説明のあった（1）学校視察の報告について、まず実際に学校を視察した委員から感想や意見を伺いたい。

委員

窓が大きく、明るい学校という印象を受けた。設備としては、PTA室にIHヒーターや流しが設置されていたのが良いと思った。図工室は収納が狭いのか、荷物が廊下に出ていたのが残念だと感じた。

委員

体育館に冷暖房がなかった。体育館は災害時も使用するので、建て替えの際には冷暖房設備を設置してもらいたい。

委員

エレベーターはあまり使用していないようなので、新校舎ではいらないのではないかと思った。屋上緑化は雑草が生えていたので、管理が難しいのではないかと思う。敷地内の緑を増やす必要があるとすれば、屋上ではなくスペースのある玄関等に植栽を置いたり、木を植えたりする方が周辺の環境にも良いと思う。また、児童の校内事故を防ぐ工夫をとってもらいたい。例えば、床などは木の素材で、万が一倒れても怪我が軽く済むような作りができるか検討してもらいたい。壁も同様で、廊下側の壁はコンクリートむき出しではなくて、子どもの背ぐらいまでは何か工夫ができないかと思う。

最後に、中野区への要望になるが、建て替えにあたっては建設費以外に保守管理費等のランニングコストも考慮に入れた設計にってもらいたい。

委員

図書室が1階にあって、校舎内を通らず外から入れる出入口があるというのは、子どもたちが夏休みに本を借りに行ったりするのに、行きやすくて良いと思った。

委員

谷原小学校の場合、建て替え後に児童数が増加し特別教室を普通教室に改修したりしているので学級数は余裕を持って設計してほしい。また、統合新校には多目的室のような学年集会等ができる広い部屋、ゆとりのあるスペースがたくさんあれば良いと思う。

委員

地域開放型の図書室や体育館等に、校舎内を通らず外から入れるようになっているのが良いと思った。学校施設としては、継続的に学校経営していく上では、明るくて緑豊かなところであればそれで良いと思っている。そういう意味では、今の向台小学校も桃園小学校も該当している。校舎も管理のことを考えると広すぎない方が良いと思う。

委員

廊下はとても広かったが、掲示板の大きさが小さいと感じた。廊下から教室の中が見えるように、壁がガラス等になっていたのだが、掲示物が貼りきれないと思った。

また、当初は特別支援学級用の調理室がなく、後づけで大人用の流しを設置したようだ。大人用の高さでは児童は使用できず教育活動が狭まってしまう恐れがある。現在ひまわり学級には、大・中・小の流しがあり、児童が自分に合った高さの流しで洗い物等の調理活動ができるようになっている。統合新校でもそのような設備が必要であると思う。

委員

廊下やホールが広くて、開放感がある学校だと感じた。避難訓練時など児童が集まるときに、移動しやすいと思う。学習環境としては、廊下側のロッカーが小さくて使いにくいのではないかと思った。向台小学校では廊下に設置したフックに児童の荷物をかけている。子ども目線で使いやすいものが新校舎にもあると良いと思う。

また、プールは葉っぱ等が入ってしまうと水質管理が難しくなるため、屋上にあるのは良いと思った。あとは、プールと更衣室の動線をうまくとってほしい。

委員

まず全体として見たときに、オフィスのような感じがして新しいものはやはり良いなと感じた。特に校舎の玄関部分が非常に広く、明るく作られていたのがとても良かった。普通教室は、建物の高さ制限のために、天井高を低くしていた。少し圧迫感があったので、教室だけでももう少し高くできれば良いと思う。また、校長室が非常に狭く感じた。来客等もあるのでもう少し余裕のある作りになってほしい。また、ホールの外に鉄骨が見えていたが、鉄骨が非常に太く頑丈なものであったので、安心感があった。最後に、図書室には本をもっとたくさん置いてほしい。小学生の間にいろいろな本を読むことはとても大事なことなので、図書室の充実というのも検討してほしい。

委員長

参加した委員の話を受けて、谷原小学校の視察について質問・意見等あるか。

委員

谷原小学校の図書室は誰でも入れる形になっているのか。

事務局

児童が学校にいる時間は使えないが、放課後や休日に地域の方に開放している。視察時は夏休みだったが、大勢の人が来ているという印象はなかった。プールの補習授業をしていたので、その授業が終わるのを待っている乳幼児親子が数組利用していた。蔵書も一般用の図書はなく、児童向けの本のみである。

委員

学童クラブはどんな様子であったか。

事務局

体育館棟西側の1階にあったが、視察では学童クラブ室は使用していたため見学できなかった。図面で見ると、隣のひろば室と同じくらいなので、広さは十分かと思う。学童クラブとひろば室、中野区で言うキッズ・プラザのようなものが学校の中にあるので、安心して使えると思う。

委員

特別支援学級棟が、普通学級と違って天井が非常に高くなっていた。それで外光を取り入れるようにして、上のほうにも大きな窓がありとても明るくて良かったので、ぜひ取り入れてもらいたい。

委員

屋上に太陽光発電があるということだが、実際に発電される電力はどの程度か。また、どんなことに使用しているのか。

事務局

太陽光発電や施設の詳細の質問を練馬区の担当者に送付している。回答がまだ届いていないので次回お知らせする。

委員長

他に意見等あるか。なければ、報告は終了する。

2 議 事

議事（1）中野区立小中学校の施設整備計画について

委員長

それでは、議事（1）中野区立小中学校の施設整備計画について、事務局の説明を求める。

■資料「中野区立小中学校施設整備計画（平成26年10月）」教育委員会事務局副参事（子ども教育施設担当）から説明

区担当

中野区立小中学校施設整備計画とは、中野区立小中学校の施設整備を進めていくための計画で平成26年10月に策定したものである。今後の施設整備の基本的な考え方の他、改築における「標準仕様」を定めている。標準仕様を定めることで、より効率的・効果的に施設整備ができると考えている。この標準仕様と各学校の特色ある教育活動を踏まえて施設整備を進めていく。

委員長

今説明のあった（1）中野区立小中学校の施設整備計画について、意見・質問等あるか。

委員

標準仕様について、小学校と中学校の違いは何か。主な部分で良いので教えてほしい。

区担当

主に特別教室に違いがある。例えば、中学校の音楽室は第一、第二の二つある。また、被服室と調理室は兼用できるような形で考えている。

委員長

建物の規模として小学校より中学校の方が、廊下の幅が広い・天井が高い等の違いはあるのか。

区担当

小学生と中学生で体格差があるので仕様は違っている。天井高については、その土地の高さ制限があるため一概には言えない。

委員

統合新校の学級数について、新校舎では何学級整備する予定なのか。これまでの統合を見ると、統合前にどちらかの学校に児童が偏ってしまったり、他の地域の学校に児童が流れてしまったりという状況があった。

区担当

児童数については、毎年の出生率等から人口推計を行い、最終的に何学級用意すれば足りるのかということを検証している。桃園小学校・向台小学校の統合新校では現段階では24学級を整備する予定である。統合時は、おそらく20～21学級を想定しているが、予備も含めて24学級としている。

委員長

他に意見等あるか。なければ、議事を進める。

議事（２）統合新校のあり方について

委員長

それでは、議事（２）統合新校のあり方について、事務局の説明を求める。

事務局

前回の統合委員会では、お互いの学校を知ってもらうために両校長先生から学校の紹介をしてもらった。今回は、先ほど報告した谷原小学校の施設見学や中野区立小中学校施設整備計画等を踏まえて、統合新校がどのような学校になってほしい・こんな施設がほしい等の意見があれば伺いたい。

委員長

それでは、今説明のあった（２）統合新校のあり方について、何か意見・質問等あるか。

委員

子どもの放課後教育というか、子どもが放課後も安心して楽しく過ごせるような学校にしたいという思いがある。私自身働いているため、子どもは保育園や学童クラブで過ごす時間が長かった。「新しい中野をつくる 10 か年計画（第3次）」では、学校の中に学童クラブやキッズ・プラザを整備して、児童館を廃止する方針であるが、今後も働く親が増えて、ニーズが高まっていくことから学童クラブの待機児童が出てくることも想定される。安心して学校で一日中過ごせるような放課後教育を充実させてほしい。

委員

地震等があった時に学校が避難所となると思うが、体育館の規模から全員が収容できるというのは難しいと思う。学校が災害時に避難所として機能が変わった時のノウハウというものはあるのか。また、今後そのような検討があっても良いと思うが如何か。

事務局

体育館について、避難所を見込んだ仕様というものは決まっていない。冷暖房については、先ほど説明した中野区立小中学校施設整備計画の標準仕様にもあるとおり、新しいものには完備していく方針である。また、場所に余裕があればということになるが、見学をした谷原小学校では体育館の入り口の前にかなり広いスペースがあった。そうすると、その場所で体育館が避難所になった時の避難者の受付や物の仕分け等ができるのではないかと思う。今はそのようなことしかまだ考えられていない。

委員

停電になったら自家発電になるのか。

事務局

冷暖房を完備しても、元が止まってしまったらどうしようもない。費用面も含めて検討していく必要がある。

委員

体育館の入り口には、高齢者や障害者のためにスロープの設置も検討してほしい。

委員長

様々な意見が出たが、事務局如何か。

事務局

統合新校のあり方については、意見の取りまとめは行わないが、どのような学校になってほしいかということは今後も校名や校章を検討する際にも鍵となってくるため、引き続き協議していくようになると思う。また、施設に関する意見については、議事（３）で説明するが、アンケート調査を実施するのでそちらでも意見が出せるようになっている。

議事（3）統合新校の新校舎の基本構想について

■「桃園小学校校舎改築の基本構想・基本計画策定にあたり、統合委員会で協議する事項等について（予定）」教育委員会事務局副参事（子ども教育施設担当）から説明

「基本構想・基本計画」に盛り込まれる主な内容	協議方法	協議時期	取りまとめ方法
施設整備に関する状況	—	—	—
計画地周辺に関する状況	—	—	—
統合新校校舎建築の基本的な考え方（コンセプト）	区の提案内容を協議	9月～10月	協議内容を踏まえ、中野区が提案内容を修正
全体施設計画	区の提案内容を協議（校舎、校庭等の配置案等）	9月～11月	意見書（統合委員会から教育委員会へ）
工事計画	—	—	—
アンケート調査結果の概要	※ （アンケート内容の提示）	※ （9月）	※ （9月中にアンケート実施）

■「桃園小校舎改築の基本構想・基本計画策定スケジュール（案）」事務局から説明

第2回 学校統合委員会（8月31日）

基本構想・基本計画策定スケジュールの説明

○基本構想・基本計画（案）策定に伴う今後の統合委員会の協議について（確認）

○アンケートについて

基本構想・基本計画策定支援業務委託契約（8月）

第3回 学校統合委員会（9月下旬～10月上旬）

新校改築の考え方の説明、配置案の提示

○新校改築の考え方について（どのような学校にするか）

○配置案に関する協議について（1回目）

第4回 学校統合委員会（10月下旬～11月上旬）

前回までの統合委員会における意見を提示

○配置案に関する協議について（2回目）

○新校施設に関する意見の取りまとめについて

<2回目までの協議内容を反映した意見の取りまとめ（案）を送付>

第5回 学校統合委員会（11月下旬～12月上旬）

アンケートの結果の報告

○新校施設に関する意見の取りまとめ（決定）

（教育委員会への取りまとめ結果の報告）

基本構想・基本計画（案）議会報告…（平成29年1月下旬～2月上旬）

第6回 学校統合委員会（2月上旬～中旬）

基本構想・基本計画（案）について報告

地域説明会（2月中旬～下旬）…区報2月5日号で周知

基本構想・基本計画策定（3月末頃）

■「統合新校改築基本構想・基本計画の検討にあたり実施するアンケートについて」、「児童・教職員・保護者・地域住民に対するアンケート項目」教育委員会事務局副参事（子ども教育施設担当）から説明

1 実施期間

9月7日～9月28日（3週間）

2 実施対象者

対象校の児童（4～6学年）、教職員、保護者（全保護者）、地域住民（各学校統合委員会委員の推薦する地域住民）

3 実施方法

	実施対象者への アンケート用紙の配布・回収	各学校統合委員会委員への アンケート用紙の受渡し・引取り
児童	学校統合委員会委員（学校）	中野区（子ども教育施設担当）
教職員	学校統合委員会委員（学校）	
保護者	学校統合委員会委員（学校）	
地域住民	学校統合委員会委員 （町会・自治会推薦、校長推薦、公募）	

4 アンケートの集計結果について

1 1月以降の学校統合委員会では報告する予定

委員長

それでは、今説明のあった（3）統合新校の新校舎の基本構想について、何か意見・質問等あるか。

委員長

アンケートの項目は、これで決定か。

事務局

今回の資料では主な項目として挙げており、内容はこれで決定としたい。あとはアンケートの体裁を整えて配布する。

委員

アンケートの質問事項を見ると、建物に関する質問と運営方法に関する質問が混ざっているように思う。また、こういう設備・施設がほしいというのは理想的に言えば全部ほしいと思うのではないか。

事務局

アンケートは意見をまとめるということよりも、いろいろな意見を聞きながら、統計をとることを重視している。例えば、ほしい施設や設備が選択しきれないということであれば、自由欄に書いてもらいたい。また、項目を絞り込むと結果を誘導してしまう恐れがあるので、幅広く意見を聞きたいと思う。

委員

保護者は全保護者に対して行うのか。また、学校から保護者に配るものと、統合委員会にPTAとして参加していると対象が重なってしまうのではないか。

事務局

全保護者を対象としている。また、申し訳ないがPTA推薦の統合委員会委員にも地域住民向けに10部お渡しする。保護者以外の地域の方に依頼してもらっても良いので、出来る範囲で協力をお願いしたい。

委員

地域の保育園・幼稚園の保護者は対象ではないのか。

事務局

対象としていない。統合委員会に乳幼児の保護者代表で2名参加されているので、その委員に配布してもらいたい。

委員長

それでは、アンケートの配布・回収について協力をお願いします。

議事（４）その他

委員長

本日予定していた議題は以上で終了となる。何か発言等あるか。それでは最後に次回の開催日程について、事務局の説明を求める。

事務局

事前に委員長と両学校の予定を確認したところ、10月11日火曜日に開催したい。

委員長

今回は10月11日火曜日でよろしいか。

—異議なし—

委員長

では、時期が近付いたら開催通知を事務局から送付する。そのほかに何かあるか。ないようであれば、本日の統合委員会はこれをもって終了する。